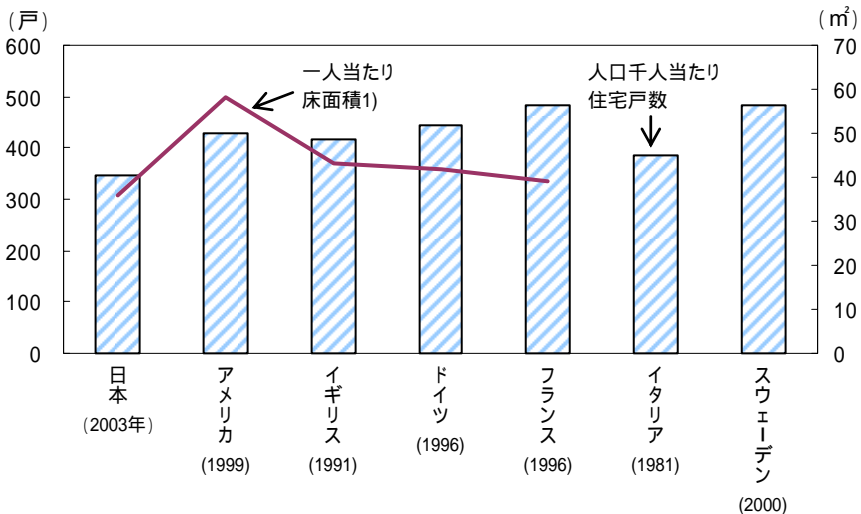


## 10 勤労者生活・その他

### 10-2 住宅水準



▶ グラフの具体的な数値および資料出所については、「第10-8表 住宅水準」(p.246)を参照。

(注) グラフ内の調査年は、人口千人当たり住宅戸数についてである。

1) 一人当たりの床面積は、イギリスが1996年、ドイツが1998年の値。

日本の人口千人当たりの住宅戸数は348戸（2003年）で、アメリカ428戸（1999年）、イギリス417戸（1991年）、ドイツ445戸（1996年）、フランス484戸（1996年）、スウェーデン483戸（2000年）よりかなり低い水準である。

1人当たり床面積においても、日本が36m<sup>2</sup>と比較的低い水準になっている。国によってその測り方が異なっているため単純に比較できないことに注意しなければならないが、日本の1戸当たり床面積は、アメリカを除いた他の先進諸国に比べて決して狭くないにもかかわらず、平均世帯人員数が比較的高いことと、借家における1戸当たり床面積が他の先進国に比べて極端に狭くなっていることが要因となり、日本の1人当たり床面積を狭くしていると考えられる。